

中間総括における視点について（案）

中期目標期間の中間点における総括実施要領「2 実施方法」に定める「(1)法人における自己点検」及び「(2)評価委員会における法人の自己点検の確認」は、以下の視点に基づき行うこととする。

1 市民の健康と福祉の向上への貢献

医学、薬学、看護学という健康と福祉に関する学術分野を揃えた我が国唯一の公立の大学であるという特徴を活かし、医療、創薬を中心に、広く「市民の健康と福祉の向上に貢献する大学」をめざしているか。

2 環境問題の解決への貢献

これまで蓄積してきた様々な知的資源を活かしつつ、持続可能な社会の形成に向け、広範な環境問題の解決のため、教育・研究、社会貢献、大学運営の各活動に取り組み、「環境問題の解決に挑戦し、貢献する大学」をめざしているか。

3 幅広い視野と教養、豊かな創造性を身につけ、地域社会・国際社会に貢献できる人材の育成

- (1) 教養教育においては、総合大学としての特性を活かした全学的・学際的な推進体制の確立を図っているか。
- (2) 専門教育では、学部専門教育の到達水準を明確にし、それを推進するためのカリキュラム編成を行うなど、各学部の特性に応じた目標を掲げ、これを実施しているか。
- (3) 大学院教育では、高度専門職業人の育成に努めるとともに、創造力豊かな若手研究者の育成により、高度かつ先進的な国際水準の研究レベルを有した人材を育成するため、各研究科の特性に応じ、かつ研究科間及び大学間の連携などの目標を掲げ、これを実施しているか。

4 国内外に通用する先端的な研究活動と時代や社会の要請に対応した研究活動の推進

研究においては、基礎、応用、臨床等の各分野で、国内外に通用する先端的な研究活動を推進するとともに、研究分野における選択と集中を図り、時代や社会の要請に対応した研究活動を展開しているか。

5 名古屋都市圏や 21 世紀の社会が抱える課題の解決に向けた取り組み

「地域連携」や「産学官連携」を通じて、市民、地域社会、企業等と協働し、名古屋都市圏の抱える課題や 21 世紀の社会が抱える課題の解決に向けて取り組み、とりわけ「市民の健康と福祉の向上に貢献する大学」、「環境問題の解決に挑戦し、貢献する大学」として、社会貢献に積極的に取り組んでいるか。

6 地域の国際化と国際社会への貢献

国際感覚豊かな人材を育成するため、学生交流を推進するとともに、国際的な共同研究、支援活動を推進し、地域の国際化への寄与や国際社会への貢献を果たしているか。

7 医、薬、看護学部等と連携した教育・研究の推進と市民に最高水準の医療を提供するための取り組み

- (1) 附属病院において、医学部、薬学部及び看護学部を有する名古屋市立大学の特性を活かし、医学部、薬学部及び看護学部等と連携した教育・研究を推進しているか。
- (2) 高度先進医療を始めとした先端の医療技術を開発、提供するとともに、名古屋都市圏の基幹病院として、地域の医療機関との連携のもとに、市民に最高水準の医療を提供しているか。

8 理事長がリーダーシップを発揮できる運営体制の確立

大学運営に係るマネジメントシステムを抜本的に改革し、理事長のリーダーシップが発揮できるように企画立案機能・補佐体制等を強化し、中長期的な人事計画・人員（人件費）管理・公正で弾力的な人員採用方法・教職員の貢献が公正に評価される人事評価システム確立のために具体的措置を講じているか。

9 財務内容の透明性の確保と法人の経営基盤の強化

- (1) 財務内容に透明性を持たせ、効率的な経営を行うとともに、各種外部研究資金の獲得を支援する体制を整備し、自主財源の安定的な確保に努め、また、業務全般について見直しを推進し、効率的・合理的な運営に努め、経費の抑制を図っているか。
- (2) 目的積立金は、教育・研究等の向上に資するとともに、自主的・自律的な大学運営のために運用しているか。

10 自己点検・評価体制の確立と市民・社会に対する説明責任

自己点検・評価の結果等を公表し、大学運営の改善に結びつけるシステム及び体制の確立を図り、市民や社会に対する説明責任を果たすとともに、研究成果や知的財産等、大学の持つ資源を広く情報提供しているか。

11 施設整備、安全管理・危機管理体制等の強化・確立

計画的な施設の整備・改修を進め、附属病院を含め良好なキャンパス環境を形成しているか。施設管理、学生の安全確保防災対策などの安全管理・危機管理体制を強化・確立しているか。男女共同参画推進の趣旨を踏まえ、労働・研究環境等の整備を行っているか。